遠藤れい子の新潟県議会ウォッチ　No.352　2026年10月11日　《部内資料》



遠藤れい子ひまわりレポート

〇遠藤れい子事務所　〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443

ホームページ

「担当者の認識不足から、施設構造や運転条件を誤認して評価を記載」した

耳を疑う？！“東電のいいわけ”

9月24日、地元紙デジタルは**「柏崎刈羽原発6号機、30年超運転審査の申請書類に不備再び判明　規制委が東電を批判」**との記事を報道しました。

「東電は9月24日、柏崎刈羽原発6号機の30年を超える運転に必要な施設の管理計画の申請書類に不備が見つかり、新たに13件の変更が生じたと規制委員会の審査会合で説明した。」

「東電によると、今回変更した13件には、担当者の認識不足から、施設構造や運転条件を誤認して評価を記載していたものなどが含まれる。全体の評価や管理方法には影響しないという。」



9/20　なくそテ原発柏崎大集会で

耳を疑う内容だ。基本的ミスを繰り返す東電に原発を運転する資格があるのか。更に心配なのは、経年劣化だ。つい最近も6号機のポンプ車のホースが経年劣化で破断して2人が負傷する事故を起こしたばかり。それでも、30年超の原発を書類審査だけで更に10年、20年と使い続けようというのだ。

【遠藤れい子のコメント】

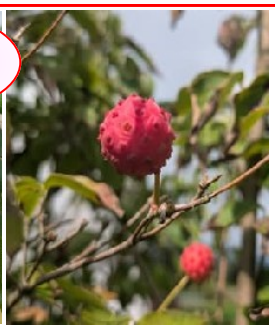
看護師の現役当時、医療ミス防止について原発の安全管理担当の方から講義を受けた。「原発では一つのミスは次の壁で必ずストップがかかる幾重の安全管理システムになっている」と。そこに学び医療事故対策を改善してきた。

いまの東電はどうか？ずさんな組織体制と傲慢な姿勢にはあきれ、信頼できない。

また東電に大甘な規制委員会の姿勢も大問題。現地調査や現物点検など、安全への厳正な姿勢が必要です。

遠藤れい子の笑顔でファイ


ナツメの実


ヤマボウシの実

稲刈りも終わり、実りの秋。ナツメやヤマボウシの実が家の周りで色づいて来ました。

子どもの頃食べたヤマボウシは、今はあまり食べなくなって、ほとんどは鳥さんへのプレゼントに。ナツメは懐かしい味です。小学生のころを思い出します。

実りの秋の思い出 ／ ながおか映画祭を観たこと

長岡映画祭で『声をあげるということ』性犯罪、刑法改正の記録』を観ました。被害を受けた人たちがフラワーデモで声をあげる。全国各地で声をあげ大きな力となって刑法改正につなげた。感動のドキュメンタリー映画です。

（濱地咲季監督、小林麻衣子プロデューサー）


トークする小林茂・濱地・小林の3氏

遠藤れい子と平和のコンサート

～権藤真弓とジャズライブ＆市民トーク～

日時：2026年11月1日（日）
13:30開場 14:00開演
会場：リリックホールシアター
入場料：全席自由 一般1,500円
小学生以下無料

